

出張先の田舎街で
義母と再会 ホーム
センターの中
小さなお尻は成長
していて・・・

いろいろあり、学生時代に別離した義母。
お尻は小さめである。

その後義母が引っ越して事務職などをして
いるらしいことをなんとなく聞いたり
していたが、場所までは知らなかつた。

今となれば・・・・・・・・・・。

義母の真っ白下着がとても懐かしく思い返ってくる。

.....。

医療器具関連の仕事についている俺。

今、仕事の出張で来ているのは平穏な田舎町。駅前に広い田畑とそれに不釣り合いな少し大き目のホテルがある。

義母との過去、それはほんの少し不気味な木の床の廊下・・・・・・・・。

・ ・ ・ ・ ・ 。

・ ・ ・ ・ ・ 。

出張仕事が一段落し、泊まっていたのは
駅前のその大き目なホテルではないが
宿泊先を出て外の空気を感じていた。

所々使われている商業ビルや多少古さ
もある商店街などの街並。

川沿いの昼の雰囲気はとても心地よく、
住む街とは違う空気の綺麗さに癒され
るのを感じていた。

・・・・・・・・不気味な木床の廊下・・・・・・・・
それは階段の入り口からシャワールー
ムの間であるが、ほんの少しシュールな
ハダカの思い出である。

晴れた午後・・・・・・・・俺はランニングを始めた。カラッと晴れた空気や街並みはとても心地よい。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)